|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 管理番号 |  | 分類 |  |
| 発生日 |  | 記述者 |  |
| タイトル |  | | |

不具合内容／再現手順：

結合試験以降のフェーズでは、不具合管理票が重要なツールとなります。不具合が発生した際には、その不具合が再現可能な手順を詳細に記述することが必要です。加えて、発生時の状況をより明確にするため、使用しているソフトウェアのバージョン、関連する画面のキャプチャ、その他の詳細情報を添付すると有効です。既存のバグトラッカーシステムを使用することも一つの選択肢で、これにより不具合の追跡と管理が効率化されます。バグトラッカーシステムを利用することで、不具合の報告、追跡、解決の過程が一元化され、チーム全体のコミュニケーションと協力が促進されます。不具合管理票は、システム開発の品質保証プロセスにおいて重要な役割を果たします。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 修正日 |  | 担当者 |  |
| 確認日 |  | 確認者 |  |

修正内容：